

平成27年5月18日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

小 森 貴

エボラ出血熱への感染があり得るとされた患者の検査結果（陰性）について

本日付(地Ⅲ39F)をもって情報提供いたしました、ギニアに滞在歴があり、帰国後に発熱が見られたことから福岡県の医療機関に入院された方（40代男性）については、国立感染症研究所においてエボラ出血熱の遺伝子検査（PCR検査）を行ったところ、17時15分に「陰性」であることが判明いたしましたのでご連絡いたします。

なお、当該男性については、念のため、引き続き入院し、健康観察を続けるとしております。

また、これまでも重ねてお願い申し上げているところですが、エボラ出血熱の疑い患者が一般の医療機関を直接来院する可能性も否定できないことから、各医療機関におかれましては、「リベリアにおけるエボラ出血熱流行の終息宣言を踏まえた検疫及び国内における対応について」（平成27年5月12日付(地Ⅲ31)）の「エボラ出血熱の国内発生を想定した医療機関における基本的な対応について」に基づきご対応いただきますようお願い申し上げます。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、関係医療機関等に対する周知方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 27 年 5 月 18 日

【照会先】

健康局結核感染症課
感染症情報管理室長 宮川 昭二(内線 2389)
課長補佐 中谷祐貴子(内線 2373)
(代表電話) 03(5253)1111
(直通電話) 03(3595)2257

報道関係者 各位

エボラ出血熱への感染があり得るとされた患者の検査結果(陰性) について

ギニアに滞在歴があり、帰国後に発熱が見られたことから、福岡県の医療機関に入院された方(40代男性)について、国立感染症研究所においてエボラ出血熱の遺伝子検査(PCR検査)を行ったところ、17時15分に陰性であるとの結果が得られましたので、お知らせします。

なお、この方については、念のため、引き続き入院していただき、健康観察を続けることとします。

本件は、エボラ出血熱の検査結果が陰性と判断されている事案でもあり、報道関係者の皆様におかれましては、患者の方のプライバシーの保護に十分御配慮いただきますよう、お願い申し上げます。